



2016年(平成28年)5月11日

京都を代表する三つの花街から集まった芸妓・舞妓が伝統と格式ある舞を披露

『京の夕べ ～祇園甲部・先斗町・上七軒～』

を開催

期間 : 6月23日(木) お食事 18:00～ 開演 19:15～

場所 : 孔雀の間(3階)

帝国ホテル大阪(総支配人:幸田雅弘、大阪市北区)では、京都の^{ぎおんこうぶ}祇園甲部、^{ほんとちよう}先斗町、^{かみしちけん}上七軒(※注)の芸舞妓による伝統舞踊の共演を、和洋折衷のお食事とともにお楽しみいただく、恒例の『京の夕べ』を、2016年6月23日(木)に開催いたします。

19回目を迎える今回も、京都を代表する三つの花街の芸妓、舞妓が一堂に揃い、伝統と格式ある舞を披露し、目にも艶やかで豪華な一夜をお楽しみいただけます。



過去の「京の夕べ」の様子

『京の夕べ』は、京都の四季の恒例行事で知られる、祇園甲部・先斗町・上七軒の芸舞妓が一堂に揃う艶やかな催しです。祇園甲部歌舞練場で毎年開かれる「都をどり」(祇園甲部)をはじめ、先斗町の「鴨川をどり」、上七軒の「北野をどり」は、それぞれ京都の四季を告げる象徴的な恒例行事として広く知られており、これらの三つの花街の舞台を揃ってお楽しみいただけるのは大変貴重な機会となります。

さらに、花街ごとに足運びや細かなしぐさなどに特徴があり、それぞれの踊りの違いも見比べられることも見所のひとつです。また、最後の演目<祇園小唄>では、三つの花街の競演を観ることができるのも『京の夕べ』ならではの醍醐味です。

舞台をお楽しみいただく前には、お食事をご用意しております。芸妓、舞妓による会場でのお迎え、お食事中的写真撮影など、優雅なお座敷気分をお楽しみいただけます。

『京の夕べ』の開催概要は下記の通りです。

『京の夕べ～祇園甲部・先斗町・上七軒～』概要

日 時： 6月23日(木)

<お食事>18:00～ <開 演>19:15～

会 場：孔雀の間(3階)

料 金：お1人様 23,000円

(お料理・お飲物付。サービス料・消費税込)

演目・出演：	笛 一 管 先 斗 町	市 宏
	清 元 先 斗 町 < 青 海 波 >	市 さよ
	俗 曲 先 斗 町 < 六 段 く ず し >	市 福
	俗 曲 上 七 軒 < 青 す だ れ >	梅 智 賀
	端 唄 上 七 軒 < 北 野 小 唄 >	勝 奈・市 多 佳・市 こま
	長 唄 先 斗 町 < 松 の 名 所 >	市 照・多 香・市 結
	地 唄 祇園甲部 < 千 代 の 友 >	照 豊・豆 花
	上 方 唄 祇園甲部 < 傘 づ く し >	彰 子・佳 つ 扇・市 晴
	端 唄 < 祇 園 小 唄 >	彰 子・佳 つ 扇・市 晴
		市 照・多 香・市 結
		勝 奈・市 多 佳・市 こま

[地方]

祇園甲部	唄・三味線	君 彌・ます穂・幸 苑
先 斗 町	唄	久 ろ く
	三味線	ミヨ作・か ず 美
	笛	市 宏
上 七 軒	唄・三味線	里 の 助・市 桃

※注

- 祇園甲部** 京都で最も大きな花街で、八坂神社の門前町として江戸時代から栄えてきました。御所風の雅やかな立ち振る舞いに、能の技法を取り入れた格調高い井上流の「京舞」が特徴で、毎年4月に明治5年から続いている、京都の春を代表する総踊り形式の「都をどり」を上演しています。
- 先斗町** 三条から四条に伸びる一本の通りにある花街です。毎年5月に上演される「鴨川をどり」は明治5年から続いており、第1部はお芝居、第2部が踊りという構成になっています。
- 上七軒** 室町時代、北野天満宮の門前の御茶屋さんから始まった最も古いといわれている花街です。毎年4月中旬に上演される「北野をどり」は、芝居に重きをおいた舞踊劇が特徴で、昭和27年に始まり、既に50回を超える歴史があります。

- ◆『京の夕べ』にご来場のお客様には、前日または当日にご利用いただける特別宿泊料金をご用意いたしております。

(予約状況によりお部屋をご用意できない場合がございます。)

1室1名様ご利用／22,000円

1室2名様ご利用／27,500円

1室3名様ご利用／39,000円

※いずれも1泊朝食付。サービス料・消費税込の料金です。

ご予約・お問い合わせ先

宴会イベント係 TEL. (06)6881-4650 (受付時間 10:00～20:00)